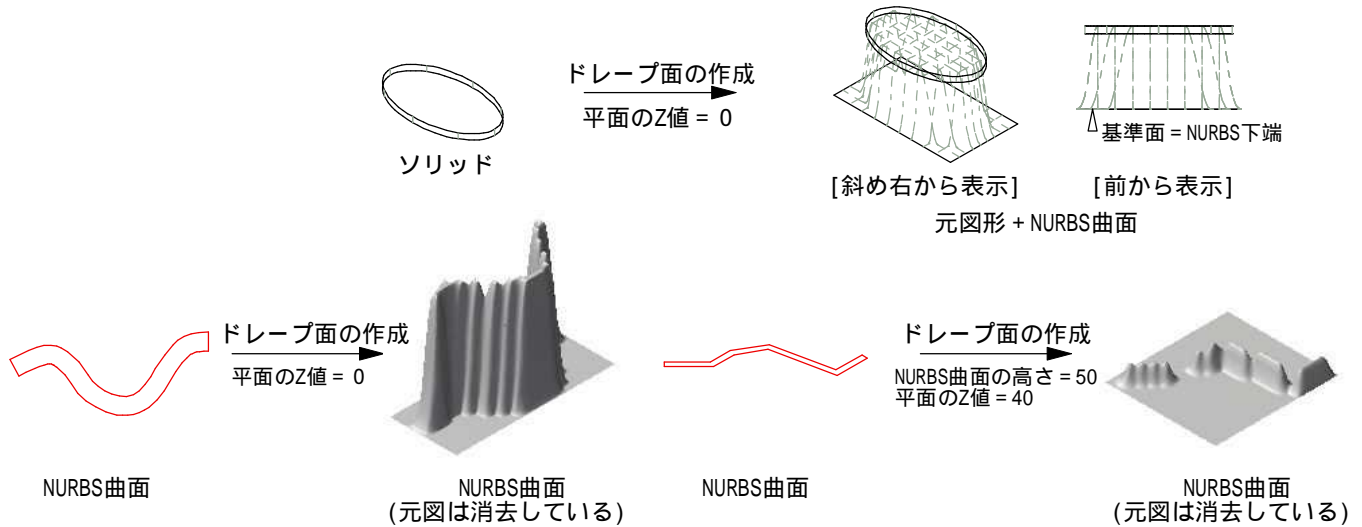




ツール・コマンド_05
モデル / 3D Power Pack_02

"ドレープ面の作成"

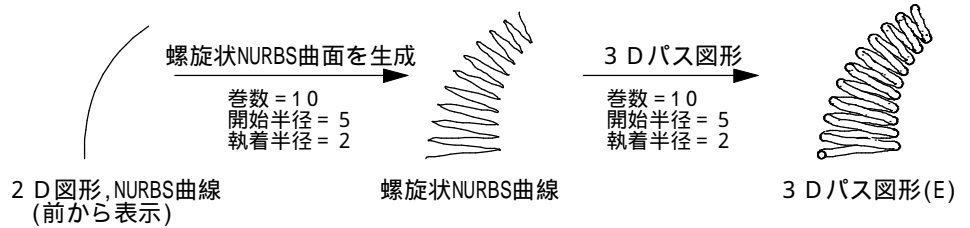
ソリッド又はNURBS曲面が対象。元図形とは別に四角形でドレープしたNURBS曲面が生成される。生成されたNURBS曲面の上端は、対象立体の上端面、下端はドレープの基準面(Z値の位置)。実行時、ダイアログが開くがU,V方向の値は3以上、平面のZ値は、対象立体のZ座標の最高値より小さい数値。カーテンやテーブルクロスとして利用できるかは微妙。



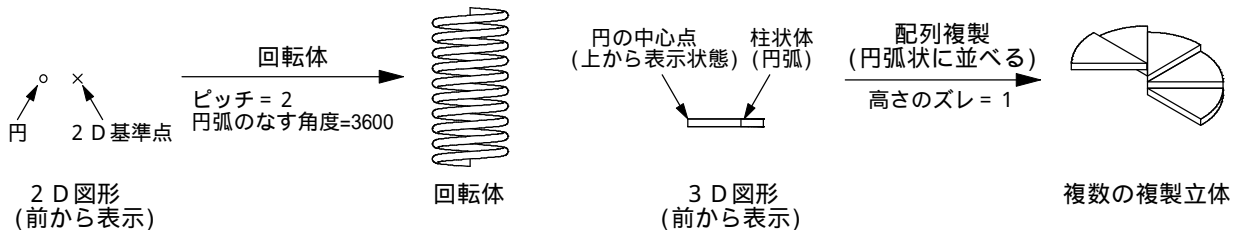
"螺旋状NURBS曲線を生成"

2D図形又はNURBS曲線をパスとした螺旋状NURBS曲線を生成する。曲線そのものの利用は少ないと思うが、3Dパス図形(E)のパスとして利用可能。

- * 個人的意見としては、回転体と同じくパスとなる図形は前から表示状態で描くとイメージしやすい。但し、螺旋描画の開始が"上"からになるが。
- * 螺旋状NURBS曲線はグループに入り、パス図形の編集可能。



* 関連コマンド "モデル / 回転体"、"編集 / 配列複製"; 前者はパラメータのひとつ"ピッチ"に数値代入することで、回転面に対し、垂直方向の螺旋形の生成が可能。後者は3次元立体物を対象に、パラメータのひとつ"高さのズレ"に数値を代入することで、螺旋状に配置された複数の複製立体が生成される。



(註) 開いたダイアログ内の"円を中心点"はXY座標軸で決定。"マウスクリックで決める"を一度だけ選択出来たことがあったのだが、幸運なバグ?